

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	出山 実 IDEYAMA Minoru						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>会計学の強みは、「測ることによって改善できる」ことです。近年の会計学の役割は、従来の利益計算や企業実態の報告だけにとどまらず、気候変動問題や人権問題、ガバナンス問題などを、どのように測って伝えていくのかという「企業と社会の持続可能性」にまで広がりを見せています。具体的には、新たな会計問題（持続可能性に関するディスクロージャー（ISSB）、国際財務報告基準（IFRS）に関する会計学など）を研究テーマとして設定し、より深い学習へと段階を進めていきます。</p> <p>専門演習Ⅲでは、現代会計の直面する諸課題を調査・研究し、卒業論文にまとめていきます。各自、個別テーマに関するとりまとめを行い、卒業論文を完成させます。</p>						
授業の到達目標	①「持続可能性に向けた経営と会計」をテーマにしたリサーチクエスチョンの設定から調査・分析、論文として書き上げる能力を身に付ける。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション：卒業論文の書き方 ①	16	オリエンテーション：卒業論文の書き方 ②			
	2	卒業論文作成<1>資料収集	17	卒業論文作成<13>第3章の執筆			
	3	卒業論文作成<2>資料収集	18	卒業論文作成<14>第3章の執筆			
	4	卒業論文作成<3>問いの設定	19	卒業論文作成<15>第3章の執筆			
	5	卒業論文作成<4>問いの設定	20	卒業論文作成<16>第4章の執筆			
	6	卒業論文作成<5>全体像の作成	21	卒業論文作成<17>第4章の執筆			
	7	卒業論文作成<6>全体像の作成	22	卒業論文作成<18>第4章の執筆			
	8	卒業論文作成<7>第1章の執筆	23	卒業論文作成<19>「はじめに」と「おわりに」			
	9	卒業論文作成<8>第1章の執筆	24	卒業論文作成<20>「はじめに」と「おわりに」			
	10	卒業論文作成<9>第1章の執筆	25	事前審査<1>			
	11	卒業論文作成<10>第2章の執筆	26	事前審査<2>			
	12	卒業論文作成<11>第2章の執筆	27	事前審査<3>			
	13	卒業論文作成<12>第2章の執筆	28	卒業論文報告会<1>			
	14	中間報告会<1>	29	卒業論文報告会<2>			
	15	中間報告会<2>	30	卒業論文報告会<3>			
授業外学修 (事前学修)	卒業論文の作成課題を行う（2時間）。						
授業外学修 (事後学修)	卒業論文に関する指摘事項等の修正を行う（2時間）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	卒業論文の作成				100%	①	
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合  優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合  良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合  可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合  不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書							
参考文献							
その他	<p>&lt;どのような学生の受講が望ましいか&gt;  ・会計の分野に興味がある学生・応用レベルの会計知識を身につけたい学生 ・将来、経理・財務担当者、銀行員、商業科の教員になりたい学生  &lt;あらかじめ受講して欲しい科目&gt;  会計学、簿記論（or 上級簿記）、経営分析、財務諸表論、管理会計論、原価計算論、会計監査論、税務会計論、環境会計学</p>						